

大阪府商工会議所女性会連合会研修交流会

南ワカバ 代表取締役 峯真貴子

11月21日晴天の中、大阪府商工会議所女性会連合会「研修交流会」として天保山ハーバービレッジより帆船型観光船「サンタマリア号」に乗船いたしました。

総参加人数134名の内、大商女性会は28名。上西会長ご挨拶のあと尾崎名誉会長のご挨拶もあり、終始和やかな雰囲気で大阪港クルージングを楽しむことができました。

新大陸に到達したコロンブスの旗艦「サンタマリア号」をモチーフに約2倍の規模で建造されたクルーズ船で、大阪ベイエリアを観光周遊しました。乗船後は、客室にてお弁当を頂きながら大阪水上バス株式会社取締役社長山田一信氏からのご挨拶と船舶事業部次長大江幸弘氏のコース案内を聞かせて頂きました。



なんばグランド花月観劇会・夕食会

株トムソーヤジャパン 取締役 近藤町子

4月18日、今までの寒さを一気に挽回する様な暖かな日、大商女性会総勢48名は、今年でちょうど100周年目を迎え、またリニューアルオープンとも重なる記念すべき「なんばグランド花月」の特別記念公演を観劇いたしました。

座席も前から5列目、6列目の一等席で、普段テレビでおなじみの吉本の俳優さんに手が届くような場所で大感激でした。

開演前からギャグレンジャーの観客との掛け合いに始まり、新人の学天即、それから後はザ・ぼんち、桂小枝、コージー富田、トミーズ、西川きよし、大木こだま・ひびきという吉本を代表するような超ベテランの落語(?)や漫才へと続きました。

さすがにベテランの漫才は息つく暇も無い程の絶妙なやりとりで、会場は笑いの渦となりました。その後は辻本さんを筆頭におなじみの俳優さんによる吉本新喜劇へと続きまたまた大爆笑!



お笑いと言えば大阪、その地位を揺るぎないものとしている吉本の芸はまさに人間の笑いの壺を計算し尽くされている素晴らしい芸能だと改めて実感いたしました。

2時間強に渡る観劇で大いに笑った後は「がんこ寿司」に場所を移し懇親会。吉本の話などで大いに盛り上がり、予定の時間をかなりオーバーしてお開きとなりました。その日は皆、大いに笑って免疫力も高まり、大変有意義な一日を過ごせたのではないのでしょうか。これからも日本のお笑いの殿堂として吉本がいつまでも発展続ける事を、そして大阪から吉本を通じて日本中に元気を発信していただける様に願ってやみません。

平成24年度の主な事業予定

平成24年	4月18日(水)	なんばグランド花月観劇会・夕食会
	6月8日(金)	【近畿女性会連合会】第24回総会・彦根大会
	6月18日(月)	平成24年度通常総会&講演会・役員改選
	7月~9月	4委員会編成
	7月	正副委員長の選任、委員会活動の検討
	9月~11月	【大阪府女性会連合会】理事会
	10月5日(金)	【大阪府女性会連合会】研修・交流会
	10月5日(金)~6日(土)	【全国女性会連合会】北九州全国大会&エキスカッション
	10月	経営事例発表会
	11月~12月	視察研修会
平成25年	1月	新年互礼会
	2月	経営事例発表会
	2月	【近畿女性会連合会】理事会&会長会議
	3月	【大阪府女性会連合会】総会&講演会

◆編◆集◆後◆記◆

思い起こせばあっという間の2年間でした。上西会長、池上副会長、堀内委員長のご指導の下、委員皆様のご協力により「NOW」の発行がスムーズに運びましたこと心から感謝申し上げます。また、素晴らしい原稿をお寄せくださいました皆様にも厚く御礼申し上げます。これからも「NOW」が会員の皆様全員に読んでいただけるよう、そして、大商女性会のますますの発展隆盛を広報委員会一同、心から祈念いたしております。2年間本当にありがとうございました。最後になりましたが「NOW」の素敵な表紙デザインをいつもご提供していただいております御船会員に改めて敬意を表し、御礼申し上げます。(広報委員会)

※掲載している役職は、全て開催当時のものです。



Vol. 26 2012年 春号

大商女性会 編集発行/大阪府商工会議所女性会(大阪府商工会議所総務広報部内)
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 TEL:06-6944-6211 FAX:06-6944-6250

平成24年 新年互礼会

株アークティック 代表取締役 久保田光恵

平成24年1月23日、「大阪府商工会議所女性会 新年互礼会」が帝国ホテル大阪にて、会員174名の内、108名出席の下、盛大に行われました。

尾崎公子名誉会長が「年の初めに」をピアノ演奏され、大阪府商工会議所 佐藤茂雄会頭をはじめご来賓の方々をお迎えして、新春にふさわしく、晴れやかに会が始まりました。上西美智子会長の新年のご挨拶では、女性会会員の中から昨年起業家大賞を受賞された(株)マーズデザイン 代表取締役社長 田ノ本智子さん、センターフィールド(株)



代表取締役 富田祐子さんが紹介され、今年も女性会会員の活躍に大いに期待しているというお言葉をいただきました。尾崎名誉会長のご挨拶は、昨年の東北震災の際、いち早く女性会からの義援金を届けた思いと、これからも共に信じ合い、助け合い、生きることが大事であり、女性会の絆を大切に、感謝を忘れず、昇り竜のごとく上に向かって進んでいく事こそが大事であるという、勇気の出るお話でした。佐藤会頭からは今こそ女性の時代であり、「元氣・勇気・笑顔」がキーワードで、女性会に期待しているというお言葉を頂きました。改めて、今年が有意義な年になるよう、何事にも全身全霊で取り組むことを年頭に誓った有意義な一日になりました。

平成24年 大阪府商工会議所女性会連合会 総会・講演会

株アル・コネクションプロダクツ 代表取締役 中西理翔

大阪府商工会議所女性会連合会平成24年通常総会が3月21日に行われました。

合計14団体246名が参加となりました。全員で商工会議所女性会の歌を合唱した後、上西美智子会長による快活な開会のご挨拶。その後、尾崎公子名誉会長が「ひとりひとり、己を磨き語り合う女性経営者同士が語り合う場こそ、人生の宝物である。」と力説され、人間浴という言葉も教えていただきました。「豊かな人間関係を育む場として素晴らしい場が女性会には存在する」という素晴らしいご挨拶の後、引き続き議事が進行され、岸和田商工会議所女性会の入会が満場一致で決議されました。

心のこもった吉兆のお弁当をいただいた後、「夢を抱いてチャレンジする熱き心」という演題で大和ハウス工業株式会社 代表取締役兼CEO 樋口武男氏のご講演をお聞きいたしました。創業者の夢を追い続ける企業として、樋口氏と創業者との対話を中心にお話は続き、時を忘れるほどの素晴らしい内容でした。「創業者の努力の非ではない」毎度、創業者の志を企業内外に伝え続けておられる謙虚で真摯なお姿に感動いたしました。「何をしたら、世の中のためになるのか」を考え続けること。世の中に必要とされる商品、企業になるという企業としてあるべき姿を示唆いただきました。

最後に、大阪府商工会議所女性会連合会副会長である高槻商工会議所高山美智子会長が、爽り多い総会となったことを閉会のご挨拶として結ばれました。



視察研修会「座談会」報告「女性経営者としての生き方」

弁護士法人近畿中央法律事務所 弁護士 阪口英子

日時：平成23年12月2日午後4時10分～午後5時40分

場所：せとうち児島ホテル2階「雲海の間 A」

テーマ：「女性経営者としての生き方」

司会：大川雅子副会長

パネラー：浅井幸子代表取締役会長（社名：浅井硝子株式会社、業種：化粧品容器・焼酎瓶などの卸業）

池田容子副所長（社名：池田綜合法律事務所、業種：弁護士）

大和田雅江代表取締役（社名：株式会社ピギン・ワン、業種：ファイナンシャルプランニング）

富田祐子代表取締役（社名：センターフィールド株式会社、業種：コンピューターソフト開発）

名倉百合子監査役（社名：大和熔材株式会社、業種：高圧ガス製造販売）

上記の座談会の要旨は以下の通りである。

パネラーより自社及び自己紹介が行われた後、大川副会長の司会進行のもと、今回の座談会のテーマ「女性経営者としての生き方」にまつわる質問事項について各パネラーが自らの意見や体験談などを回答された。

まず、人材育成・雇用、リスク管理についての各パネラーの経験談などから、いかに有能な人材を確保するか、また雇用した人材をいかに教育するかという課題に、どなたも頭を悩ませておられる様子が窺えた。



しかし、そのような難しい状況においても、パネラーの皆さんの会社では、毎朝の朝礼を通して従業員に対してメッセージを発信すること、従業員に対するコンプライアンスの周知徹底、従業員一人一人への積極的な声掛けなど様々な工夫をこらし、より優秀な人材の育成に努めておられるとのことであった。

また、リスク管理に関しては、ISOやプライバシーマークなどの取得、顧客名簿の管理の徹底等の対策により、個人情報等の機密が漏洩することのないような様々な工夫を行っているとの情報が、各パネラーから発表された。

海外ビジネスに対する取り組みについては、各自の現状や将来計画などについてお話を伺った。世界的な競争の中でいかに会社を発展させていくかということ念頭に、どの会社も海外ビジネスに関しても様々な取り組みをしておられるとのことであった。特に、インターネットの世界で活躍されている富田社長からの海外ビジネスに対する意欲的な取り組みについてお話を伺い、新しい技術により世界は繋がっていること、それにより海外の国々は以前にくらべてかなり身近な存在となったことが実感できた。

次に、経営者の重責から生じるストレスをどのように発散しているかとの質問がパネラーに対して行われた。パネラーの皆さんからは、ジムに行って汗を流す、気の合う仲間とゴルフを楽しむ、国内外のマラソンレースに参加する等アクティブなものや、落語、文楽、映画、展覧会などの鑑賞、カラオケ、寺社仏閣巡りなど様々な分野にわたる発散法が紹介され、研修会参加者は皆、興味深げにパネラーの話に耳を傾けておられた。

最後に、大商女性会から得たこと、学んだこと、経営者としての喜びについてパネラーにお話を伺った。

パネラーからは、世代や業種の異なる会員同士の付き合いを通じてアイデアやヒントを貰うことが多いこと、女性経営者として同じ悩みや喜びを知る者同士として、単なる女友達とはまた違った付き合いができること、会員の中には税理士、弁護士等の専門家もおられ、気軽に意見やアドバイスを求める機会があること等、様々な意見が発表された。

また、経営者としての喜びに関しては、どのパネラーからも共通して、「従業員が幸せや喜びを感じて働いてくれることが経営者の喜びである。」との意見が述べられ、従業員の気持ちにしっかりと寄り添い、女性らしい細かな心配りをしながら経営をしておられる皆さんの日頃の様子が窺えた。

その後、研修会参加者からいくつかパネラーに対する質問が行われ、終了予定時刻に座談会は終了した。

「視察研修会」に参加して

株式会社 x コム 代表取締役社長 岸井みゆき

12月2日、女性会主催の1泊2日の視察研修会に参加いたしました。参加者46名を乗せたバスは、燃え盛る紅葉の中を一路岡山のアイビスクエアへと出発し、楽しいおしゃべりに花を咲かせている間に最初の目的地に到着しました。倉敷美観地区の見学と大原美術館めぐりです。大原美術館では、倉敷の実業家大原孫三郎が洋画家の児島虎治郎に託して収集された、西洋美術、エジプト・中近東美術、中国美術などの幅広いジャンルのコレクションを鑑賞しました。宿に到着してすぐに開かれた座談会では、浅井幸子様、池田容子様、大和田雅江様、富田祐子様、名倉百合子様の、心を打たれる素晴らしいお話を拝聴し、勉強になりました。



翌日はフェリーで直島に渡り、世界的に注目されている体感型美術館のベネッセ美術館と地中美術館を見学しました。以前から来てみたいと思っていた直島は、「島全体がアートだ」と聞いていた通り、島のあちこちに素敵なオブジェが展示され、2つの美術館は安藤忠雄氏のデザイン建築で構成されており、自然光がいかに優しく人を癒してくれるのかを体感いたしました。また、斬新な近代アート鑑賞の秘訣も教えていただきました。その秘訣は「芸術家が何を表現しているのかを理解するものではなく、自分自身がどう感じたかが大切なのだ」

私にとって初参加の研修旅行でしたが、五感をリフレッシュしながら芸術の秋を堪能でき、帰路の車中では、「来てよかった。」という声が入り感動を共有でき、連帯感に包まれました。

経営事例発表会

《平成24年2月15日(水)2月例会》

センターフィールド(株)代表取締役 富田祐子さんのお話をお聞きして

株式会社 エステート 代表取締役社長 西尾康子



今回は、第10回女性起業家大賞グロース部門の優秀賞を受賞された富田祐子さんのお話を伺いましたが、パワーと熱意にあふれたお話に圧倒されました。

富田さんは、短大卒業後すぐに結婚され、3人のお子様にも恵まれて専業主婦をされていましたが、40才の時に一念発起。人生一度は社会に出るのもいいか！とリクルート活動を始め、起業してみたいという思いに至って、今の会社を設立されました。

当初は社会経験も資格も何もなく、経営って何なの？というところから税理士、司法書士、社労士の先生方にスパルタで鍛えてもらい、ご自身は子育てをしながら毎日の睡眠時間が3時間という状況の中で3年間も頑張られたそうです。

今では、13名の社員をかかえるようになり、机に向かう仕事が多い為、福利厚生として社内ですポーツを推奨されており、富田さんご自身も昨年大阪マラソンに出場し完走されました。

このマラソンを介して有森裕子さんとお知り合いになったのがきっかけでボランティア活動もすることになり、ジャフ島中部地震では、ジャグジャカルタでの「one tree oneオーナー」という植樹活動などを提案され、王室より感謝状も頂いております。

本業では、零細企業を対象としたソフトの開発に取り組み、9年がかりで「Power Position」というパッケージソフトを完成されました。

今回のお話では、どの言葉も富田さんの理想が強く感じられ、私自身も心が引き締まる思いがしました。

(株)マーズデザイン代表取締役社長 田ノ本智子さんのお話をお聞きして

株式会社 グループ・エコー 代表取締役社長 平松悦子



リクルートを半年でやめ、主婦の時、友人に誘われ軽い気持ちで不動産会社にお手伝いに行き、その当時はバブル絶頂期でしたので毎日非常に忙しい日々を送り、そして離婚、バブル崩壊。多額の負債をかかえ、不動産を売り払い負債も少額になる。売上を上げるため、お客様ともタイアップして内装を手掛け、40歳の時に夜間の工業大学に進み、2級建築士の免許を取得。

そんな折、安全なカビなど生えないジェルネイルが面白いよ、と友人から聴く。ネイルに関して何の知識もないし、関わった事もないが、引き込まれるように安全なジェルを私が創ろうと思った。

その後工業大学の工学博士の協力を得て安全なジェルの開発と研究に力を入れ、起業をする。

輸入品をつかえば儲かるのは分かっていたが、どうしても自分で創る安全なジェルにこだわった。化粧品製造メーカーとしても登録する必要があり、司法書士に当時は頼むお金もなく、全て自分たちで行い、化学に知識のある友人を会社に入れ試行錯誤を重ねられ、現在に至る。

事例発表を聴き、非常に行動力があり、熱く自分の道を信じ、迷いはあったにしても達成に向かって行くパワーの強さ、又メンタルな部分での強さを感じました。

それは、女手一つで料理屋をしながら子育てをしたお母様を手伝わされた子供の頃から、生きる力を身につけ、たくましくしっかりと生きて来られたからではないでしょうか。

学ぶ事の多かった事例発表でした。